

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島委員	青少年健全育成について、協議していきたいと思います。説明については、社会教育荒井主幹をお願いします。
荒井主幹	別紙青少年育成に係る資料を基に説明
伊藤委員	幼児虐待ということへの対応のシステムはできているのか
荒井主幹	<p>民生の方で対応している。学校に関係する部分では対応はあるかと思うが、児童民生員とかが対応している。</p> <p>家庭に引きこもりになっている子ども達とかをどう引き出していくかという課題を社会教育で取り組んで行かなければならないと考えている。親の学習ということでの家庭教育に取り組んで行くことが必要かと思う。</p>
木村委員	子ども見守り隊は2600人以上の登録があるとのことであるが、実際のところどのくらい機能しているのか？
荒井主幹	<p>名簿はあるが、2692人いる。実動できる人たちを把握したいと思うが、再度登録だとか働きかけをするというより、こういう活動ができるとか実際に動いてくれる人に工夫して活動に参加出来るようにしていきたいと思う。</p> <p>子ども見守り隊という組織はないが、各団体などを通じて呼び掛けしたり、イベントに協力を呼びかけたり、育成協と調整して把握していけたらよい。</p> <p>缶バッジは無料でやっている。マグネットは有料である。</p>
伊藤委員	つくるにはお金がかかっているのだから、いくらもらって、それを青少年育成に使っていったらどうか。
荒井主幹	お願いして渡しているし、育成協でお金を取ってどれだけ登録するかというところもある。
浅野主査	<p>青少年育成基金という名目で寄附して、その財源で何をするかという目的が大事かと思うが、そうしたことでお金を集める方法もある。</p> <p>よく不審者がでたということもあるから、こうしたバッジを付けてもらうことで安心するということにつながるのでは。</p>
木村委員	<p>誰でも名前を登録すれば、バッジをもらえるので逆に安心とまでは言えない。</p> <p>しっかり登録者を管理するということまでは行かないかもしれないが把握する必要があるのでは。</p> <p>人材や後継者の確保とかが課題と若い人が活動できるように発信することや工夫することが大切。</p>
荒井主幹	青少年育成の活動は地味であるが、一生懸命いきいきと活動しているといいなと感じることが次に繋がる。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
荒井主幹	<p>育成協の活動している方が警察に捕まらせてはいかんといていたが、そういう状況を大人が野放しにしてはいけないと思った。</p> <p>不審者情報が流れると育成協にもメールが入り見回りにいたり、登録してもらって情報を受けられるようにしておくことも大切</p>
木村委員	<p>子ども達にバッチを付けている人のことは周知されているのか？</p>
野村主査	<p>学校がどこまで周知しているかわからないが、子ども達は認識していると思う。</p>
牛島委員	<p>PTAや子ども達に対してでも年1回周知するだけでも違う。</p>
荒井主幹	<p>校長、教頭には新任にはバッチを渡している。プレイガイドにもお知らせしている。</p>
木村委員	<p>せっかく登録しているのだから、バッチをちゃんと子ども達にも直接周知していくことが大事</p>
浅野主査	<p>登録してもらった意識とこれからどう活動できるかを検討する事が大事である。先日地域安全の日と言うことで青パトの出動式があったがそういうときにバッチを付けようということ呼びかけたらよいのでは。</p>
牛島委員	<p>見守る側の取組と見守られる側の子ども達への声かけが大事</p>
荒井主幹	<p>リトルウイングの白いジャンパーを来ている方の認知を先生にもしてもらいたいと思う。</p>
一色主事	<p>認知は上がっている。中学校は生徒会と合同で声かけ運動をしている。小学校児童会との合同の活動をしていきたい。</p>
木村委員	<p>中学生は大人との関わりが薄くなる</p>
野村主査	<p>社会教育の中でも、中学生に対するアプローチが手薄である。</p>
一色主事	<p>中学校、高校生と警察と合同でゴミ拾いを40人で行ってきた。</p>
木村委員	<p>つみきサークルは、人数が少なくなっている</p>
荒井主幹	<p>地域に子供会がなくなっている。</p> <p>つみきサークルの名前がよくないと思う。B-liveに大半は繋がっている良い名案があれば、B-liveジュニアとか？</p>
浅野主査	<p>青少年育成という部分で社会教育が中心ではあるが、他の関係機関も網羅されているようであるが、計画をつくる段階で他が入り込んでくるものはないのか。</p>

発 言 者	審議内 容 （発言内容、審議経過、結論等）
荒井主幹	青少年育成が教育委員会が担当していることになっているが、民生であったり児童支援であっても関わりとしてあるかと思う。
牛島委員	これはこれで、民生や総務などが関わる組織図があった方がよい。役場と外の組織も連携する上で組織図は必要ではないか。 青少年育成の組織にみんな入っているけど、どう連携しているのかを見て分かるようにしたらよい。
浅野主査	民生サイドとしても青少年育成を考えていくことは必要である。
荒井主幹	社会教育としては、他部局との連携とか今のところまとめられている
牛島委員	全体的に連携してやっているという組織の中で、社会教育だけではなく青少年育成に関わっているという意識を持っているかが大事ではないか。
野村主事	青少年問題協議会では当然、役場内部では民生やまちづくり主幹も関わりを持って会議を開いている。
荒井主幹	社会教育だけでは全て解決できるわけでもない。何かあれば全体的に連携しながら協力して解決していくことにはなっている。
木村委員	ここでは計画に必要だと思うことを意見として出しているだけで、結論は出す必要はない。もっと社会教育だけでなく横の連携や繋がりをもっと明確にしたらよいという意見であると思う。
荒井主幹	討論をするわけではない。出た意見を計画にどう盛り込めるか。又必要かどうかを担当サイドで検討して、計画をつくっていくものだと思うが、社会教育で全て作成して、民生とかが全く知りませんということがなければよいと思う。
木村委員	青少年育成と社会教育とは切り離せないし、守備範囲は広い。
小田島委員	人材確保と高齢化が課題である。全てのところの課題になっている。
浅野主査	人材確保といっても何をするかという目的がないと集まりにくい。引きこもりの人をどう引き出していくかが大事である。
牛島委員	まとまりきっていないが、とても大事な部分でもあるので、後はうまく担当で整理してもらい、次回2巡目で確認をしていきたい。